

CASBEE とっとり

■使用評価マニュアル: CASBEE-新案(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)いきいきケアホーム西福原	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市西福原3丁目1番7号	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	87人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 予定	評価の実施日	2015年9月6日
敷地面積	1,989㎡	作成者	柴田 直人
建築面積	845㎡	確認日	2015年9月7日
延床面積	2,238㎡	確認者	坂本 浩志

外観バース等
 図を貼り付けるときは
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 3.3**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 3.2**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.6**

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 3.2**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.1**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.2**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.6**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 2.6**

3 設計上の配慮事項		
総合 高層化建築物とし、給湯設備にエコットを採用するなど、環境負荷の低減に考慮して建物としている。		その他 0
Q1 室内環境 住居エリア、共用エリアをゾーニングする等、建物の利用条件を考慮し、適切な計画とした。	Q2 サービス性能 バリアフリー性を意識し、入居者がスムーズに建物内を利用できるように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 道路に接する面に植栽を設け街並みに配慮した計画をした。
LR1 エネルギー 建物外皮性能の向上を考慮した計画をした。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用を行い資源・マテリアルに配慮した計画をした。	LR3 敷地外環境 隣地境界に目隠しフェンス等を設けることによって防犯性、プライバシーの確保を考えた。

重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 15点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	5点 / 25点	
合計	5点 / 90点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される